

## 令和2年度 活動支援事業の実施団体と取り組み内容

### 1 えべつあそび場創造プロジェクト (継続申請の特例 2年目)

団体の概要	
活動開始年月	平成31年3月
登録会員数	4人
通常の活動内容	毎月1回日曜日に、介護付有料老人ホーム蓮音及び静苑ホームにて、地域の子どもたちを対象としたあそびの会を開催。
助成を受けた実績 (直近)	平成31年度協働のまちづくり活動支援事業 120,000円

事業の概要	
事業名	あそび場を増やそう
対象	江別市内の子どもたち、保護者、地域施設
地域の課題として 考えていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あそび場の不足 昨年度までは市内2か所の施設をあそび場として開放してきましたが、限られた地域の子どものしか参加できず、あそび場が足りていない。</li> <li>・体制の不足 あそびの会を開催するためには、その地域・施設の協力がなければ会の負担が大きい。</li> </ul>
実施内容	あそび場を増やすため、地域施設等に訪問して利用許可を得、あそびの会を開催する。またあそびの会の運営を施設に任せる。
実施効果	あそびの会に参加する子どもが増える。 会としての負担が軽減され、活動の継続が容易になる。

## 2 ACネットワーク研究会

団体の概要	
活動開始年月	平成26年4月
登録会員数	3人
通常の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校等で食育活動</li> <li>・ 食育事業への大学生の参画、高齢者への啓発や広く江別市民の参加や周知に関する活動</li> <li>・ 親子食育教室など野菜のおいしさの啓発や健康に関わる活動</li> <li>・ 職業体験に関する活動（お店屋さん体験、ラジオ放送局体験等）</li> </ul>
助成を受けた実績（直近）	なし

事業の概要	
事業名	小中学生のラジオ職業体験事業
対象	市内の小中学生
地域の課題として考えていること	ITやプログラミング教育、家庭ゲーム機など、情報社会の中で子どもたちは体験に飢えており、五感を活用するような職業体験を通して子どもたちの心の健康や将来の職業観をサポートする。
実施内容	小中学生に、ラジオ番組の放送内容を企画してもらう、リスナーの気持ちを考えてオンエアの曲を考えてもらう、生放送のパーソナリティを体験してもらう。ラジオ放送は年2回を予定。
実施効果	<p>シミュレーションではなく、実際のメディア生放送に自分の企画がオンエアされること、リスナーへ放送を通じて語りかけることなどが大きな自信や経験、思い出となる。</p> <p>児童生徒に新しいことにチャレンジすることや実際の大人の社会で自分の力を試すということに前向きな気持ちと力がつく。</p>